

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	14	事例No.	12	依頼者	一宮市環境部環境保全課	実施場所	エコハウス 138
実施対象	一宮市内在住の小学生と保護者（28名）						
実施日時	平成30年10月27日（土）13時30分～15時00分（1時間半）						
テーマ	ペットボトルから繊維を作る実験講座						

●依頼内容

「子ども環境イベント～エコフェス～」において、小学生と保護者で協力してできる、体験をしながら環境について学べる講座を実施したい。

●講師：松田麻衣子氏：愛知服育研究会

服育について造詣が深く、愛知服育研究会メンバーである松田氏は、学生服専門の株式会社イトウの社員。講師以外にも、愛知服育研究会メンバーの5名が、ファシリテーターとして講座を支援。

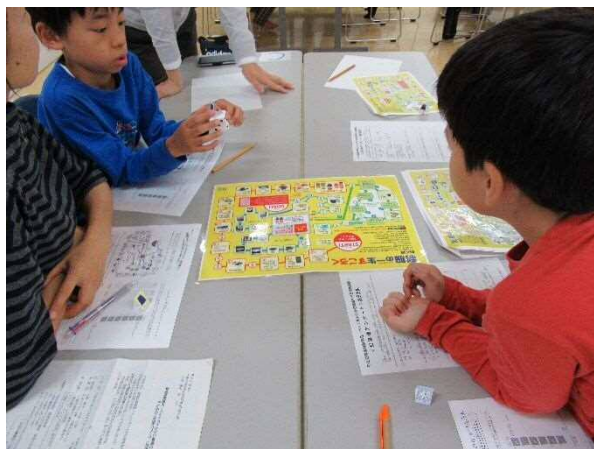
●授業の内容

座学	地球温暖化のお話	パワーポイントを使った説明で、地球温暖化が進んでいること、その影響がいろいろなところに出ていること、その温暖化の主な原因はCO2であることなどについて学びました。	30分
	すごろくの説明	その後、「制服の一生すごろく」のやり方の説明を受け、すごろくの中にある「服を作るエリア」「服を着るエリア」「服を捨てた後のエリア」において、制服の一生(ライフサイクル)について学びました。	
実習	「制服の一生すごろく」体験	制服の一生(ライフサイクル)を学ぼう！というテーマで、「制服の一生すごろく」を体験しました。	60分
	「ペットボトルから繊維を作る」実験	「ペットボトルをリサイクルして再生綿を作ろう！」というテーマで、ペットボトルを砕いたチップを小さな穴の開いたアルミ缶の中に入れ、アルコールランプで温めて糸状繊維を作りました。	

●授業の様子

子どもと保護者は6つの班に分かれ、班ごとにファシリテーターの支援を受けながら、すごろくで楽しみながら、服の一生について体験的に学びました。「ペットボトルをリサイクルして再生綿を作ろう！」の実験では、子どもたちはペットボトルから糸状繊維のできる様子を興味深く観察し、割りばしで綿あめを作るように繊維を集めていました。最後に、参加者全員で、衣服を大切に長く使い、不用になったらリサイクルし、エコな取り組みをすることを確認しました。

「制服の一生すごろく」の体験



ペットボトルから繊維を作る実験

